

主な記事

2～3面 子どもと体験した喜怒哀楽こそ僕のかけがえのない財産／「産後パパ育休」がはじまりました／子育て支援団体の紹介／あるシニア男性の独りごと

4面 立川・この人／東京都パートナーシップ宣誓制度／令和4年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所紹介

発行／立川市男女平等参画課  
企画・編集／アイム市民編集委員  
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2  
☎ 042-528-6801 FAX 042-528-6805  
e-mail danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp

立川市ホームページ <https://www.city.tachikawa.lg.jp>



# 女性の活躍を応援する

No.40  
12/10

令和4年(2022年)  
年1回発行

# アイム

## 男性の育児参加で みんなハッピー



20～30代男性の約8割が育児休業を希望しているという調査結果がある一方、実際の男性の育児休業取得率はわずかに13.97%（『令和3年度雇用均等基本調査』より）。

「育児・介護休業法」が改正され、令和4年10月1日からお父さんの「産後パパ育休」が新設されました。新制度によって、男性は育休を取りやすくなるのでしょうか、そしてそのことで社会にもたらされる大きなメリットとは……？ アイム編集委員で調べてみました。

### 1児の父

妻は1年間の育休、会社員の私は有給休暇を利用して育児をサポートした。コロナ禍で在宅勤務もあり家族の時間が増えた。当事者になり初めて子育ての大変さを知り、父親が育児に関わる大切さを実感している。

### 2児の母

営業職の夫は仕事が忙しく、職場にも前例がなく育休取得をしなかった。職場が遠く帰りも遅く、完璧にワンオペ育児に。成長とともに子どもも習い事などで忙しくなるので、乳児期の関わりは大切だったと感じている。

## 素顔インタビュー

「お父さんの育休」について、  
編集委員が身近な人や企業に聞いてみました

### 3児の父

中学教員の私は第3子で初めて、育休を申請し1年半取得した。第2子まではあっという間に大きくなってしまったが、現在は地域の子どもや新米パパとも関わりながら、成長を間近に感じて夫婦ともに満足している。

### 2児の母

我が家は、夫の職場が育休を取りにくい職場で、有給休暇を使って生まれてから少しの期間、新生児の子育てに参加してくれた。2人で寝不足になりながらも、協力して乗り越えた。10年以上経っても協力して家事・育児ができるのは、その時の経験があるからだと思う。

### 1児の母

夫は育休を取っても、のんびりダラダラ。子どもの動画を撮ってばかりで、家事は何もせず、挙げ句の果てに「今日の昼メシ何？」なんて聞かれて、ブチ切れた。育休の意義をもっと分かってほしい。

### 市内の通信インフラ事業経営者

育児・介護休業法が一部改正されたことは承知している。男性社員の育休はワーク・ライフ・バランスの点でも大切であり、弊社も数日取る社員から半年近く取る社員がいる。社員が生き生きと働ける職場をつくることは企業として大切なこと。



# 子どもと体験した喜怒哀楽こそ 僕のかけがえのない財産

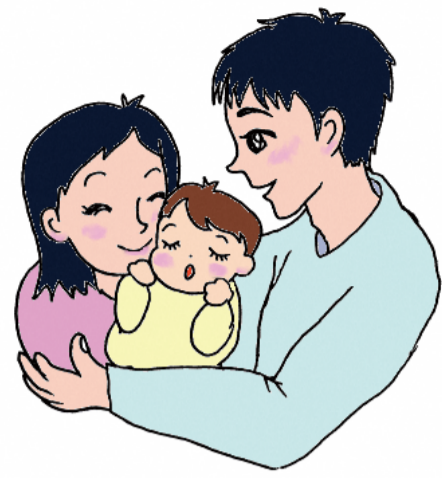
## 「イクメン」の名付け親・渥美由喜さんに聞いてみました

### 育児参加を通じて 豊かな人生に

私は独身時代から地域の子どもたちと公園で遊ぶ活動を始めていたのですが、そこに来る子どもたちから「お母さん」という言葉がよく出てくるのに、「お父さん」という語がほとんど聞かれなかったのが気になっていました。それでせっかくなので親になれたのなら、ただ給料を運ぶだけでなく、子どもと一緒にいろんな体験をする方が、豊かな人生になるはずだと考えて、育児を取ることにしました。

まだ男は「24時間働けますか？」の時代で、育児を申請する男性は皆無、私も周囲から奇異の目で見られました。そこで、上司に助け船を出してもらい、職場では自分の担当業務をあらかじめ同僚とシェアしておくなどの準備をして、実行しました。

育児の体験は衝撃的でした。自分の気持ちや言葉で表現できない赤ん坊と四六時中付き合うことで、忍耐力や察知能力が鍛えられ、複数の事柄に対処できる能力もアップしたと思います。当然、職場復帰した時、そうした能力は部下への接し方などに活かすことができました。



### 男性の育児取得で会社の業務も改善できる

最近の調査では、若い世代は8〜9割が育児取得に積極的というデータがあります。他方で、上司の世代には「男のくせにけしからん」「男なら子育てよりも仕事をしろ」という意識が残っています。その上司世代の意識を変えようと、ここ十数年、自治体や企業を回って、千数百回の講演やセミナー

を開いてきました。

2017年より、厚生労働省は男性従業員の仕事と家庭の両立に取り組む企業に「イクメン企業アワード」を出して顕彰していますが、受賞した会社の中には、もともとは年次有給休暇ですら取得率がほぼゼロだったり、離職率が非常に高かったという中小企業が入っています。そのような企業であってもコーピングの導入やIT化の促進などによって業務改善を行い、男女ともに育児取得率100%を達成するまでになることができました。

単に「育児をとらせる」だけでなく、本人や会社全体の業務改善とワンセットにして取り組めば、今後本格化する介護ラッシュを乗り切る武器となります。ぜひ働く人とともに企業も、男性の育児取得に挑戦してもらいたいのです。

### 諸外国と比べ整っている日本の育児制度

今回の育児制度の改正で、男性の育児取得率は確実に増えるでしょう。近年のいくらかの制度改正により、国際的にみても、日本の育児制度は北欧に次いで充実してきています。育児中の収入保障は、雇用保険や共済から約7割が支給されますし、育児によりキャリアにマイナスになるような対応が行われたなら、パタニティ・ハラスメントとして、企業に罰則が課せられます。※パタニティ・ハラスメント…父性を意味する「パタニティ」とハラスメントを組み合わせた言葉。育児参加の制度を使うことを阻まれり、使ったことに対して不当な取り扱いを受けることを指す。パタハラとも。

### 取得率から取得日数へ

男性の育児取得率は13・97%と、まだまだ少ないながら確実に増加しています。一方、育児取得「日数」の男女比は、ほぼ1対99で圧倒的な開きがあります。これまでは、男性の育児取得率の向上が大きな課題でしたが、これからは男性の育児日数をどう増やしていくかが、主要テーマとなっていくと思えます。

私は妻の出産のたびに、育児を数か月ずつ取得しましたが、出産直後は授乳する母親に比べて、あまり役に立てなかった気がします。むしろある程度大きくなってからの方が、父親として育児参加しやすいのではないのでしょうか。今夏は12歳の息子と1週間、計500キロを自転車で行き交す旅行を楽しみました。たとえばスウェーデンでは、父親が育児取得時期を延長できる制度があり、参考になります。

※スウェーデンの育児付与日数は18か月(うち約16か月は給付あり)。付与日数のうち384日は子どもが4歳に達するまで、残りの96日は子どもが12歳に達するまでに取得できるようになっている。

同国の父親は、子どもが大きくなった夏に育児を取得するケースが多く、例えば、父子でキャンプに行く、数週間かけて旅行をするといった使い方が好まれています。男女平等を画一的にそろえるのではなく、性差の特徴を踏まえて、政策の結果が公平になるように工夫されていると感じました。

### イクメンから「イクメン」へ

子育てや家事は決して楽しいことばかりではありません。一所懸命にやっても、辛いことや苦しいこと、投げ出したくなることもあります。そういうことをすべてひたひたに、良かったと思える日が必ず来ます。そして自分の子育てをきっかけに、地域とつながり、地域の子どもたちに



渥美 由喜さん

16年前、男性管理職として社内初の育児取得者となり、イクメンという言葉の考案。民間研究所の部長・研究主幹としてWLB(ワーク・ライフ・バランス)研究に従事しながら、認知症、統合失調症を患う父を10年介護。その他、地元の公園で週末に子ども会を主催し、23年間に2300人の子どもたちと遊ぶ。著書は、「イクメンで行こう」(日本経済新聞出版社、2011)など。

関わる「イクメン」(地域活動をする男性)デビューをしていただけたらと思います。

立川は、昭和記念公園があつて、私も子ども会の活動や自分の子どもと遊びに行くなど、数十回もお世話になりました。豊かな自然があり、優しい住民も多く、素晴らしい生活環境の街だと感じました。

地域で活動することは、ご自身のお子さんはもちろん、さまざまなお子さんの子育てにも関わり、孤立した子育てを防ぐことにつながります。皆さんの子どもたち、お孫さん、そして地域の子どもたちが、一人残らず立川で生まれ育つて本当に良かったと思える幸せな子ども時代を送れるよう、皆さん「イクメン」でいきませんか。

出産の時と退院後の一番大変な時に分割して、パパが育児取ってくれるのは心強いわ。詳しいことは厚生労働省のホームページで確認できるよ。



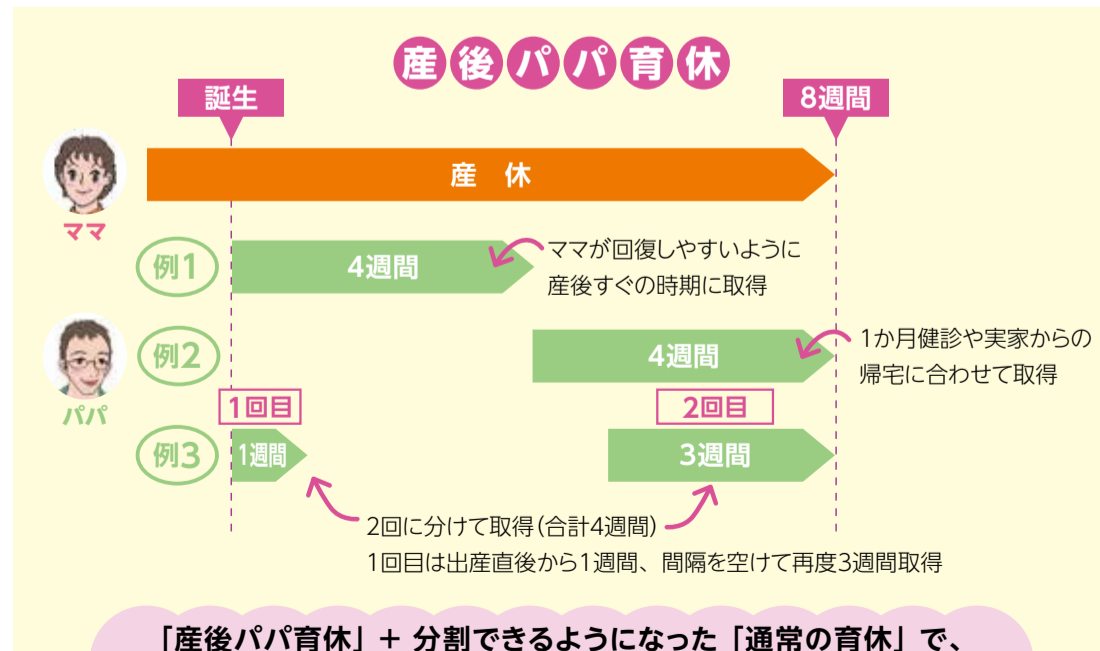
厚生労働省のホームページ



## 令和4年(2022年)10月1日から「産後パパ育休」がはじまりました。

### 「産後パパ育休」のポイント

- 対象期間 子ども出生後8週間以内に4週間
- 分割取得 分割して2回取得可能
- 申出期限 原則休業の2週間前まで
- 企業の義務 育児制度を該当従業員に知らせる



「産後パパ育休」+ 分割できるようになった「通常の育休」で、自分に合った育休ライフが送れるよう、まずは家族で話し合いを。

産後パパ育休は2回に分割できるから、職場の様子を見ながら取れるね。育児休業給付金がもらえるだし、まずは会社に聞いてみよう。



## パパママ子育て 応援部Hiタッチ!!

(女性総合センター登録団体)

東京・立川市を中心に活動する未就学児の子育てを楽しむパパたちを中心とした団体です。「パパが子育てに参加する大切さ」「パパが率先して地域のつながりを作る面白さ」、そしてなにより、『子育ては楽しい!』ということをたくさんのパパママに伝えるため、イベントの開催や交流をしています。立川以外の方やプレパパ&プレママの方ももちろん大歓迎!ぜひお気軽に参加してください。

LINE



ホームページ



## あるシニア男性の 独りごと

「また、やったか!」、最近、私のつぶやきである。「洗濯物、干しておいてね」と妻に言われていたのに忘れてしまって、「また、やったか!」。「出かけるときは、電気とテレビを消して行ってよ」と言われていたのに、消し忘れて出かけてしまい、「また、やったか!」。「眼鏡、どこかで見なかった?」「洗面台の横に置いてあったわよ」。「また、やったか!」。近頃、この「また」が頻繁に起きるようになってきた。これは私にとっては深刻な問題である。

若いときは、忘れたことなんてほとんどなかったが、「年をとるということは、こういうことなんだ」と、自分で自分を慰めている。とにかく加齢により「物忘れ」と「思い込み」が激しくなるようだ。とはいえ、これから先、医者に「認知症」と診断されるのも嫌だし、かといって、他人に迷惑をかけることもしたくないし、とにかく打つ手なしの今日この頃である。

ただ、私が忘れることがあったとしても、妻は「若い人でも忘れることはあるんだから!」と慰めてくれるし、決して「ボケ!」と言わないことが救いである。身近な人に「ボケ!」と言われると、自分は本当にボケてきたんだと思いこんでしまい、ますます自信を無くしてしまうものだ。

念のため、私と約束した人は、前の日に確認の電話かメールをしてくれませんか。(萩)



# 立川・この人

第一回の「たちかわ市民交流大学」から美術講座を担当  
美術を通して直に伝えたい！  
人間の多様さや生き方を

美術ジャーナリスト(元NHKプロデューサー)

齋藤陽一さん



●「市民交流大学」で担当される  
美術講座は毎回大変な人気です  
NHK在職時は、現在も放映中の『日曜美術館』という番組を、1976年開始の草創期から担当して、世界の美術作品をお茶の間に発信しようと日夜格闘していました。

は立川にあっても、地元の人たちとおつきあひする機会がありませんでしたが、講座を通じて、市内の友人がたくさんできました。自分が蓄積してきた知識で地域のお役に立て、しかも友人までできて、こんなにうれしいことはありません。



ところが2001年に退職して、ふつふつと湧きあがってきたのは、これからは「自分の言葉と肉声」で美術の面白さを伝えたいという思いでした。マスコミとは対極のミニコミです。

少人数の対面方式による講演や講義を始めると、反応が直に伝わるライブ感がとても新鮮で飽きることがありません。おかげで、今も講演や講座で忙しい日々です。

## ●講座で市民に伝えたいことは

子供の頃から絵を描くことは好きでしたが、大学在学中に高階秀爾先生に西洋美術史を教わり、美術作品を読み解く面白さに目覚めました。

美術史を学ぶことは、人間の創造力の多様さを知り、人間というものの幅の広さを知ることに通じます。それは現代に生きる私たちにも、多くの示唆を与えてくれます。一つの作品を讀

## ●NHK時代の思い出は？

やはり「日曜美術館」で番組デスクをしていた時のこと。フランス国営放送(当時)TF1からNHKに、「ルーブル美術館」を舞台にした大型美術館シリーズを共同制作しないかという申し出が飛び込んできました。NHKでも初めての大幅な国際共同制作で、NHK側のチーフディレクターとして、この事業に専念しました。さまざま

## ●美術界とジェンダー問題

この問題については、私は若い頃からの友人だった若桑みどりさんから多くを学び、さまざま

み解くには、西洋の歴史やギリシャ神話、旧約・新約聖書、芸術家の生きた時代の思想や哲学、科学など密接に関連している諸分野について学ばなければなりません。つまり、美術の勉強は「総合人間学」ともいえるべきもので、その奥深さと面白さをお伝えできたらと思っています。

## ●若い人たちへメッセージを

積年のジェンダー問題の解消に、今、美術界もようやく動き出したところです。

美術を通して世界の歴史や文化に触れる中で思うことは、何よりも「日本語」の豊かさ、「日本文化」の奥深さを知り、大切にしたいということだと思います。表現の根っこもなる大事な日本人のアイデンティティがそこにあることを心に留めておいてほしいと思います。

## 東京都パートナーシップ宣誓制度が始まりました。

11月1日から東京都パートナーシップ宣誓制度が始まりました。東京都のホームページで申請手続きができます。立川市ではこの東京都パートナーシップ宣誓制度の利用者が、その証明により市の窓口での手続きをこれまでよりもスムーズにできることを応援していきます。



## 令和4年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定しました

### SOMPOシステムズ株式会社

#### 取り組みの主なポイント

- 不妊治療に専念できるプレグナンシーサポート休職制度
- 留学・資格取得に専念できるスキルアップ支援休職制度
- 全従業員がライフスタイルに合わせて利用可能な、シフト勤務制度とテレワーク制度

市では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に取り組む市内の事業所の認定を行っています。

認定事業所の取り組みがわかる「立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定式」&パネルディスカッションを令和5年2月1日(水)午後2時から開催します!!  
詳しくは広報たちかわ(12月25日号掲載予定)、または立川市ホームページで

## 審議会等に参加して女性の意見を市政に

「審議会等」とは、市民や専門家の意見を施策に反映させるための機関です。

誰にとっても住みやすい市にするため、さまざまな分野の公募委員に応募し、女性の声を市政に届けましょう。

## 男女平等参画苦情処理制度をご存じですか

立川市男女平等参画基本条例では、市の施策が男女平等参画の促進に影響を及ぼす場合等に、男女平等参画苦情処理委員に苦情の申し出をすることができます。申出書の提出方法等は男女平等参画課にお問い合わせください。

## 生理用品を配布しています

女性総合センターでは、防災備蓄品を活用して、必要な方に生理用品をお配りしています。



「情報紙アイム」へのご意見・ご感想、取り上げてほしいテーマなどお寄せください。

danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp バックナンバーは、立川市ホームページから「情報紙アイム」で検索してください。

## アイム企画・編集

市民編集委員：原和美(助言者)、瓦田尚、杉浦早苗、永井靖二、萩本悦久、長谷山聡子  
イラスト協力：矢島友美